

平成27年度 財政学習講座 アンケート(第4回)

1. 今回ご参加していかがでしたか?感想をお書きください。

A:概念的には理解出来たような気がする。今後、自分としてどのように取り組んでいくべきかな。

行政/議員は取り組んで行くだろうがそれを市民が消化できるのか?→市民の啓蒙活動が必要。痛みが伴う改革。

B:「行政コスト」という言葉に対する理解が深まりました。

C:概要は理解できたと思いますが少し難しい感じです。用語区別がわからなくて、判らない。復習してみます。歳出ではないコストに狙いを定めるのが大切なのは理解できました。

D:理解することはできないほど難しかったけれど支出とコストはちがうということはわかりました。

E:今日は難しかった。数字の詳細?内容を知りたい。

F:福祉にお金がかかっている。高齢化が進んでいると思う。文化ホールが負担になっているようだ。どうしたら良いかもっと勉強しなければ・・・。

G:君津市の他(所)市との違いがかなりわかった。

H:コスト、減価償却費など今まで悪いものだと思っていた言葉の本当の内容がわかり支出に対する見方が変わりました。

I:行政コストの考え方がクリアになった。適正行政コストの評価が不理解でした。特に定住人口のための投資と交流人口増ための投資は別ものではないか?

J:「c o s t意識」市のスタッフばかりでなく市民1人ひとりが持つようになれば、と思う。

K:君津及び他都市の行政コストの状況がよくわかりました。

L:行政コストの中身が少し理解できた。

M:コストとロスの境界を見極めるのが難しいと感じたがやらなければならないことと思った。

N:初参加です。この種の研修は職員にもっと投入しコスト意識を高めて頂く必要があると思います。

O:理由がつけられるコストであるか、それともロスに該当するのか検討する必要があるかと。

Q:コストとロスの違いをきちんと理解して、コストの内訳分析をして、各行政の特徴がわかってはじめて行政経営の対応策が見えてくるのだなあ…とよくわかりました。今、住民として何を見て何を考え、何を問い、何をしていくべきか漠然としていたものが考えられることに思えました。行政改革という目的があるとき、ただ支出を減らすのはこわいことで、きちんとした維持補修や建設事業の費用を正当な時期に利用可能な範囲内に収めていけば将来も持続可能な行政運営をしていける。そう思うと地域の未来が見えてきます。「身の丈に合った行政運営」と、この言葉だけ聞くと、どの位が身の丈に合ったものなのか難しく思えてしまっていたのですが、今回きちんと学ばせていただき支出の見直しではなく「説明のできるコストの見直し」と考えると具体的な対応や身の丈が見えてくるのではと思えました。

2. 当講座に関して今後とりあげて欲しい内容、詳しく知りたい内容はありますか?今後の運営の参考とします。プログラム以外のリクエストでも構いません。

A: 特になし

D:次のプログラムが楽しみです。講座で学んだ人たちで市に提言できるような活動(一緒に意見交換も)をしてみたいです。学んだことを活かすにはどうしたらいいんだろう・・・

G:市の今進めているコスト、施設管理の健全化の方針をリクエストしたい。

K:他都市との比較、人口数、行政面積での類似都市比較があれば一層参考になると思います。

L:福祉コストの低減が君津の課題だとすれば市民は何をすべきか、行政は何をすべきかを詳しく知りたい。

N:個別具体的事象を含めての事例。例えば今後インフラに関する費用が突出されてくると思われるが、ではこの問題をどの様にして対処していくか。

3. その他、ご意見等があれば自由にお書きください。

B:今後、小中学校の校舎が統合されあまるようになって来た。その後のあいた校舎の維持管理にどれ位かかるか知りたい。

D:市がボランティアでやってもらっていることも含めたコストの考え方はできないのだろうか??

G:文化ホールの経営内容や対策(例えば木更津市と共同経営)を聞きたい。

H:山間地に住んでいる人間として利用させていただいている施設の使用する人間の必要性と施設保持コストについて考えさせられました。

L:新日鉄住金を柱とした企業の町として今後どのように変化した町造りにするのか改革が求められる行政運営が必至と考える。

P:毎回有意義な講座をありがとうございます。早く気づけばよかったのですが……。遅ればせながら考えていることを記しますと、会場の設営や片付け。参加者が自主的にするようにしたら良いと思います。私が声をあげて皆さん誘って片付けをすれば……。と何回も思いましたが、勇気がありませんでした。事務局の方でやんわりと「ご協力ください」と言ってくれたら皆さん進んで協力すると思いますよ。今ではお客様のような感じでサービスのし過ぎのように思います。市民に自分に出来る事は自分達であるという考え方を植えつけ育てることが公民館の今回の講座の目的にもつながることだと思います。